

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成28年1月18日(月)～平成28年1月24日(日)〔第3週〕の感染症発生状況

第3週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は14.43人と前週(4.83人)から大幅に増加し、流行発生注意報基準値(10人)を超えたため、市内に流行発生注意報を発令しました。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は9.21人と前週(9.97人)からほぼ横ばいで、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

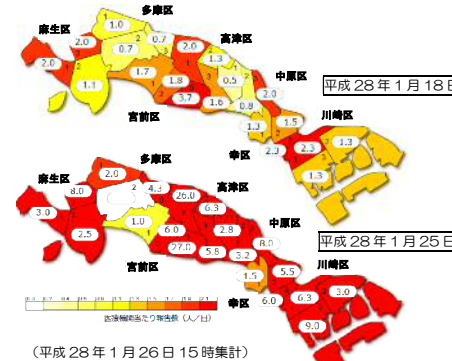


インフルエンザ流行発生注意報発令！！

川崎市では、インフルエンザの第3週(平成28年1月18日～1月24日)の定点当たり患者報告数が14.43人となり、流行発生注意報基準値(定点当たり10人)を超えたため、市内に流行発生注意報を発令しました。

前週から始まったインフルエンザを原因とする学級閉鎖等の報告は、現在増加傾向にあります。医療機関からの報告では、就学前後(5歳～8歳)のお子さんの割合が全体の中で多くなっています。集団生活の場では予防対策の徹底が特に重要です。

川崎市感染症情報発信システム(KIDSS)
リアルタイムサーベイランス地図情報
【A型インフルエンザ患者数】



川崎市内の学校等における学級閉鎖等実施状況
(平成28年1月26日15時集計)



川崎市のインフルエンザウイルス検出状況
(平成28年1月26日15時集計)

